



報道発表資料

令和6年7月18日（木）

国内希少種アカモズの公開と 保全推進シンポジウムの開催について

人間環境大学 環境科学部フィールド生態学科 講師 岡久雄二

人間環境大学環境科学部フィールド生態学科岡久研究室では、豊橋総合動植物公園、長野アカモズ保全研究グループ及び一般社団法人野生生物生息域外保全センターと共同で、全国で残り200羽程度しかいない渡り鳥アカモズの生息域外保全に取り組んでいます。

現在、飼育下で育成した個体の野外環境への馴化試験として、豊橋総合動植物公園の屋外飼育施設におけるアカモズの飼育と行動学的研究を実施しています。このため、園内の観覧通路からアカモズのメス1個体を観察できるようになっています。

また、アカモズの公開に併せて8月18日に豊橋総合動植物公園にてアカモズの保全推進を目指したシンポジウム「よみがえれ アカモズ！保全推進シンポジウム」を実施します。

動物園来園者の皆様には、実際にアカモズをご覧いただくことで、絶滅の危機に瀕するアカモズの保全についてより身近に感じていただけるものと期待しています。



屋外施設のアカモズ（写真と動画は末尾 URL より利用いただけます）

お問い合わせ先

- ・人間環境大学環境科学部フィールド生態学科 講師 岡久雄二 Tel 0564-48-7811(代)
- ・豊橋総合動植物公園 専門員 吉川、主査 木谷 Tel 0532-41-2555



報道発表資料

令和6年7月18日(木)

よみがえれ アカモズ! 保全推進シンポジウムの開催について

【概要】3講演を通してアカモズの保全の取り組みについて紹介します

【演者】岡久雄二 (人間環境大学環境科学部 講師)

赤松あかり (長野アカモズ保全研究グループ)

高御堂裕紀 (豊橋総合動植物公園 飼育員)

【日時】2024年8月18日(日) 午前10時00~12時00分

【場所】園内 ひだまり交流館

【定員】50名(事前申し込み優先)

【参加費】無料(駐車料金、入園料は別途必要)

【参加申込】ホームページの申込フォームから必要事項を入力

【申込期間】2024年8月16日(金)17:00まで

【プログラム】9:30~ 受付

10:00~ あいさつ

10:05~10:30 講演① アカモズ保全の全体像について

10:30~10:55 講演② 生息地での保全の取り組みについて

10:55~11:05 休憩

11:05~11:30 講演③ 動物園での保全の取り組みについて

11:30~12:00 パネルディスカッション&質疑応答

12:00 閉会

【主催】豊橋総合動植物公園

【共催】人間環境大学環境科学部フィールド生態学科

長野アカモズ保全研究グループ

- ・本事業は、JSPS 科研費(24K08959)、環境省生物多様性保全推進交付金、日本動物園水族館協会野生動物保護募金、東京動物園協会野生生物保全基金及びサントリー世界愛鳥基金の助成及び人間環境大学奨学寄附金を用いて実施しています。
- ・採卵や飼育等は、環境省による許認可のもと、関係法令を遵守して実施しています。
- ・飼育個体の状態、馴化試験計画の変更などにより、急遽公開を中止とする場合もありますのでご承知おきください。
- ・本年も、捕食などにより放棄された卵を救出して人工孵卵・育雛を行い、多数の雛を巣立ちさせることに成功していますが、繁殖シーズンが終了していないため、最終的な結果については改めてお知らせさせていただきます。
- ・繁殖地におけるアカモズの取材は、本種の絶滅を招く要因となる恐れがあります。そのため、本種の保護の観点から、日本国内の生息地については非公開とさせていただきます。



報道発表資料

令和6年7月18日（木）

参考

アカモズ (*Lanius cristatus superciliosus*) : アカモズはアジアに広く生息しているが、本亜種は日本のみで繁殖し東南アジアで越冬する渡り鳥であり、環境省レッドリストで絶滅危惧IB類に選定され、種の保存法において国内希少野生動植物種に指定されている。本州個体群については、2022年時点で45つがいのみが確認されており、2026年にも地域絶滅することが予測され、本種の絶滅を回避するためには、生息域内保全を進めると同時に、生息域外保全を推進することが必要とされている。

写真および動画

※動画及び写真の著作権は人間環境大学岡久研究室および豊橋総合動植物公園が有します。報道目的に限り、写真および動画（4K動画）をご提供させていただきますので個別にお問い合わせください。



豊橋総合動植物公園公開における公開個体の様子